



取扱説明書



E3305CMT E3305CMT *Bk*

CD/MDメインユニット

お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機は DC12V ⊖ アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となることがあります。



警告

- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア数) のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は運転中に、CDの交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。



注意

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **アンプ放熱部 (背面部) に手を触れないでください。**
放熱部 (背面部) の熱でやけどをする場合があります。
- **乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- **指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

- 電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス+・マイナス〉に注意し、表示通りに入れてください。
電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 使い切った電池はすぐに交換してください。
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。
- リチウム乾電池を廃棄する場合は、プラス+・マイナス端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- 電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。
電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。
火災の原因となることがあります。
- 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目 次

使用上のご注意	8
本機をお使いになるうえでのお願い	8
CD について	10
CD の清掃	12
MD について	13
MD の清掃	13
各部の名称	14
基本操作	15
電源を入れる / 切る	15
CD を聞く	16
MD を聞く	17
ラジオを聞く	17
音量を調節する	18
瞬時に消音する	18
オーディオコントロールモードを切り換える	19
VOL (VOLUME) モード	19
BASS モード	19
MID (MIDDLE) モード	19
TREB (TREBLE) モード	20
BAL (BALANCE) モード	20
FAD (FADER) モード	20
NON-F (Non-FADER) モード	20
SVC (Source Volume Control) モード	21
LOUDNESS を切り換える	22
ファンクションモードでの設定	23
明るさの調整	24
ガイドトーン ON/OFF	25
時刻の調整	26
ディスプレイ表示設定の切り換え	27
サウンドアニメーション感度切り換え	28
ディスプレイ表示パターンの切り換え	29
CD 部 / MD 部の操作	30
CD / MD を聞く	30
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	31
早送り・早戻しする	31
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン)	31
繰り返し演奏する (REPEAT リピート)	31
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム)	32

MDLP モードでグループ編集された MD の操作.....	33
次のグループに進む / 前のグループに戻る	33
曲の始まりを演奏する (グループ SCAN)	33
繰り返し演奏する (グループ REPEAT)	33
曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM)	33
CD TEXT、MD 演奏時の表示を切り換える	34
ディスクを取り出す	35
ラジオ部の操作	36
ラジオを聞く	36
自動的に放送局を記憶させる	37
手動で放送局を記憶させる	37
放送局名を表示する (放送局のエリア設定)	38
FM 放送について	40
FM 電波の直進性	40
フェードアウト.....	40
FM 放送のサービスエリア	41
マルチパス	41
DSP/ サウンド調整モードの操作	42
サウンド調整モードについて	42
ポジションセレクト	42
DSP	42
NON-FADER フェーズ	42
グラフィックイコライザ	43
簡易タイムアライメント	43
クロスオーバー.....	44
サウンド調整モードの切り換え	46
サウンド調整モード (通常モード) での操作.....	47
ポジションセレクトの設定 (Position)	48
NON-FADER フェーズの切り換え (Non-F Phase)	49
クロスオーバーの設定 (X-Over)	50
DSP の操作	51
NON-FADER の出力切り換え (Non-F Output)	52
サウンド調整モードの切り換え	53
サウンド調整モード (ADVANCE モード) での操作	53
イコライザの設定 (EQ)	54
簡易タイムアライメントの設定 (Time Alignment)	57
クロスオーバーの設定 (X-Over)	62
NON-FADER フェーズの切り換え (Non-F Phase)	63
NON-FADER の出力切り換え (Non-F Output)	63

(別売)リモコンの操作.....	64
使用上の注意	64
清掃について	64
電源を入れる / 切る	65
音量を調節する	65
瞬時に消音する.....	65
機能を切り換える.....	65
ラジオ利用時の操作.....	66
FM AM を切り換える	66
放送局を選ぶ (自動・手動).....	66
記憶済みの放送局を選ぶ	66
CD、MD 利用時の操作	67
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	67
ディスクモードを切り換える	67
電池を交換する	68
困ったときは.....	69
インフォメーションが点滅する	70
仕様について.....	75
アフターサービスについて.....	77
<商品に関するお問い合わせ先>アフターサービスについて	78

使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い

- ・ 安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。

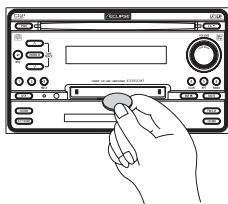


- ・ 本機は左のマークのついた CD のご使用をお勧めします。

- ・ 本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。

- ・ MP3 ファイル形式の CD-R/RW は再生できません。

- ・ 本機はMDLP(LP2モード/LP4モード)に対応しています。



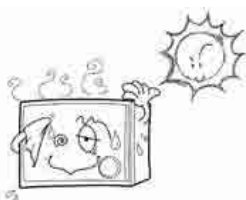
- ・ ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



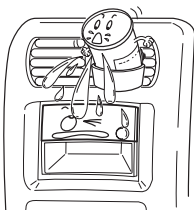
- ・ 悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



- ・ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げから本機をお使いください。



- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



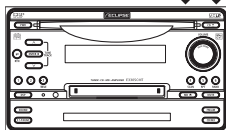
- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザ光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさせて保存してください。

- ・信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



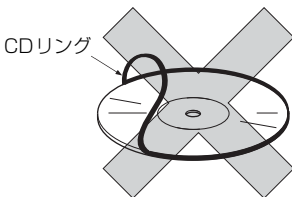
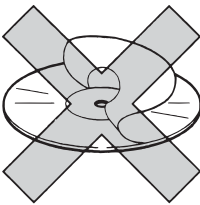
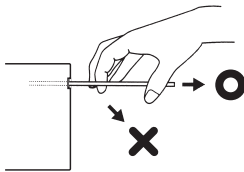
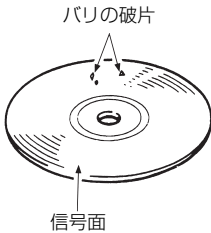
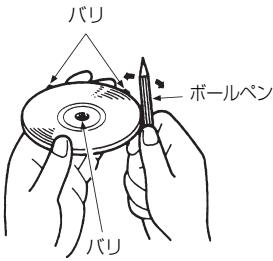
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



- ・信号面に触れないように取り扱ってください。



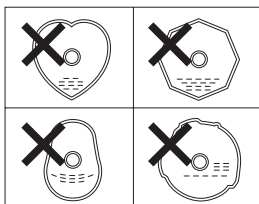
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。

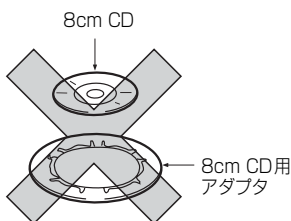
- ・本機から CD を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながらかき出すとCD記録面にキズをつける原因となります。

- ・音質向上や CD 保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

- ・音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

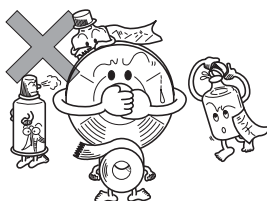


- ・本機では、8cmCD をアダプターなしで再生できません。
- ・8cmCD にシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

CDの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



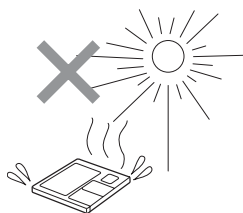
- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



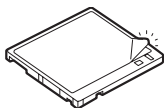
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

MDについて

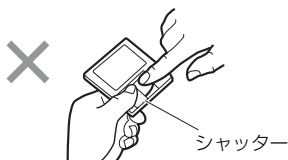
いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



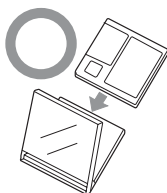
- ・ MD は直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- ・ MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・ MDは、ケースに入れて保管してください。

MDの清掃



- ・ ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。
- ・ MD のカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

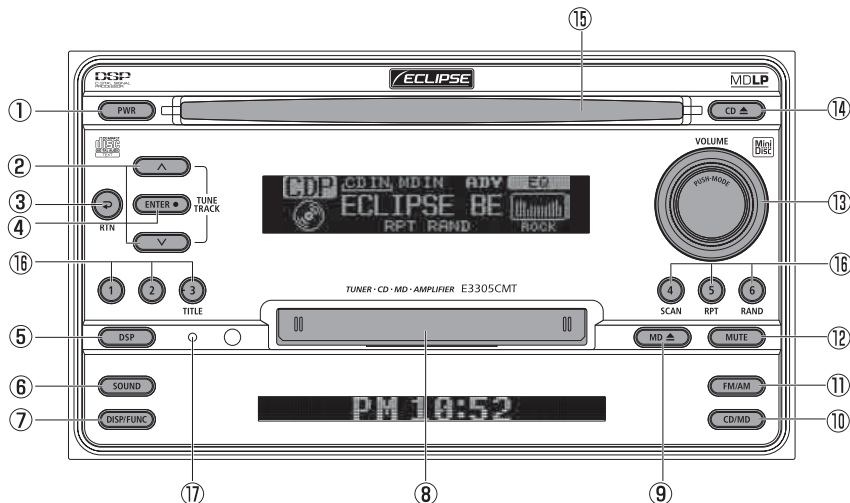
- ・ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。
(CD部/MD部の操作 30ページ、ラジオ部の操作 36ページ、DSP/サウンド調整モードの操作 42ページ)

操作手順はE3305CMTのイラストで説明しています。E3305CMT Bkでも同様の操作をすることができます。

本機正面

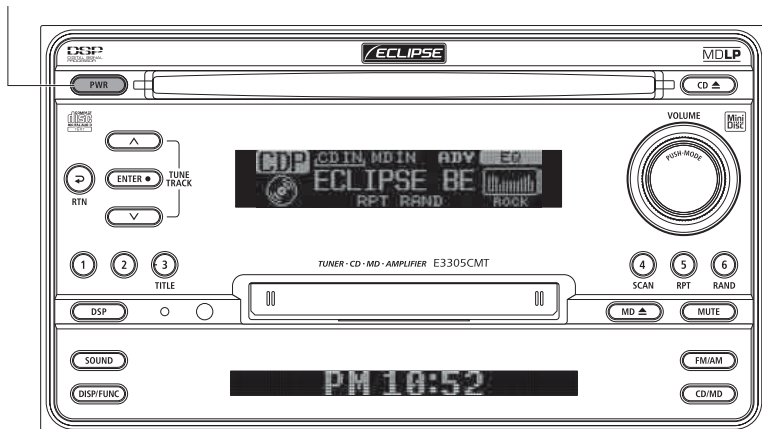


①	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
②	TUNE TRACK ▲ / TUNE TRACK ▼ ボタン	ラジオの放送局の選択やCD、MDの早送り・早戻しを行います。
③	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。
④	ENTER ● ボタン	選択した設定項目を決定するときに押します。
⑤	DSPボタン	DSPモードへの切り換えを行います。
⑥	SOUNDボタン	サウンド調整モードへの切り換えを行います。
⑦	DISP/FUNCボタン	ディスプレイ調整モードへの切り換えやファンクションモードへの切り換えを行います。
⑧	MD挿入口	MDを挿入します。
⑨	MD ▲ (MDイジェクト)ボタン	MDを取り出すときに押します。
⑩	CD/MDボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
⑪	FM/AMボタン	ラジオのバンド切り換えを行います。
⑫	MUTEボタン	消音または消音の解除を行います。
⑬	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やその他の機能を操作するときに使います。
⑭	CD ▲ (CDイジェクト)ボタン	CDを取り出す時に押します。
⑮	CD挿入口	CDを挿入します。
⑯	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑰	リセットボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

[PWR] ボタン



電源を入れる / 切る

以下の手順で電源を入れたり (ON)、切ったり (OFF) します。
ACC ポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。
電源を切るときは、手順2、または手順3にしたがって操作してください。

1 電源がOFFの状態で [PWR] ボタンを押す

電源がONになります。



ワンポイント

本機の電源を初めてONにした時、または車両の整備などでバッテリーとの接続が外されて、再度電源をONにした時は、FM1 モードで電源がONになります。その後、放送局が自動で選局されて、番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。

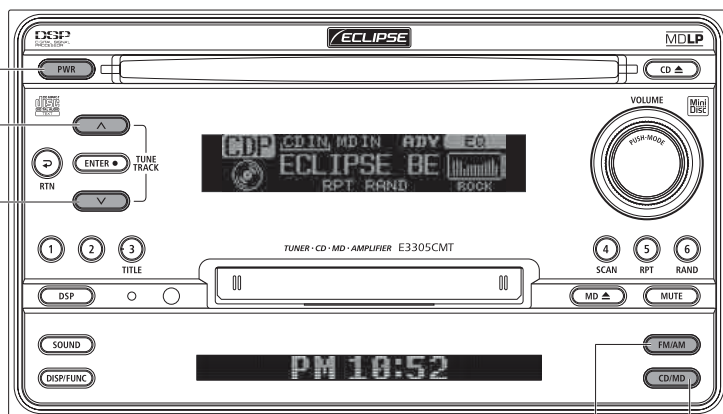
2 電源がONの状態で [PWR] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。

さらに [PWR] ボタンを長めに (1 秒以上) 押すと、電源がALL OFFになります。

[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタン

[PWR]
ボタン



[FM/AM]ボタン [CD/MD]ボタン

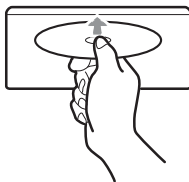
- 3** 電源がONの状態で[PWR] ボタンを長めに(2秒以上) 押す
電源がALL OFFになります。



欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR] ボタンを長めに(2秒以上)押して電源をOFFにしてください。
バッテリーが上がる恐れがあります。

CDを聞く

- 1** CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する
CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。

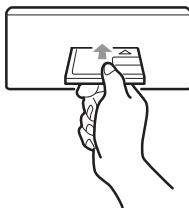


すでに CD が挿入されているときは、CD プレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押してください。

MDを聞く

1 MD挿入口にMDを挿入する

MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



すでに MD が挿入されているときは、MD プレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押してください。



MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



ラジオを聞く

1 [FM/AM] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM] ボタンを押して、FM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

任意の周波数にあわせます。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ移る

[TUNE TRACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ移る

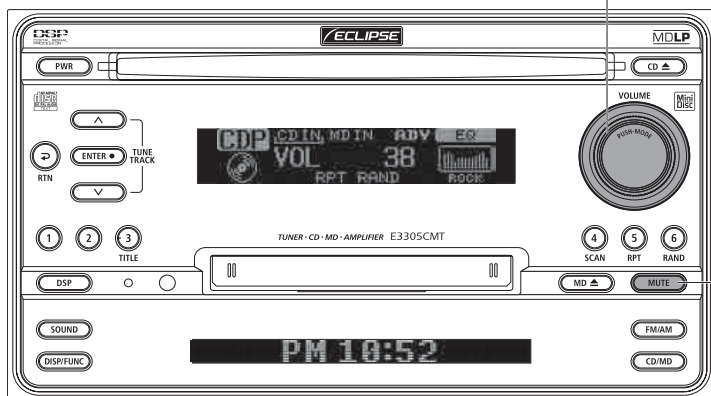
4 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ選局

[TUNE TRACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ選局

[オーディオコントロール]ボタン



[MUTE]ボタン

音量を調節する

1 [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

右に回す …… 音量が大きくなる

左に回す …… 音量が小さくなる

瞬時に消音する

1 [MUTE] ボタンを押す

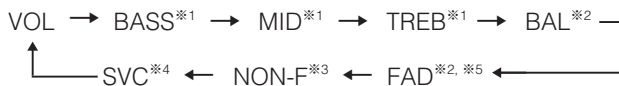
消音を解除するには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、
[オーディオコントロール]ボタンを右側に回します。

オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整をすることができます。

1 [オーディオコントロール] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※1 ADVANCEモード時は、調整できません。(53ページ参照)

※2 ポジションセレクトがONの時は調整できません。(48, 58ページ参照)

※3 ノンフェーダー出力は、BASS、MID、TREBLE、ラウドネス、イコライザでの調整内容を反映しません。

※4 FMモード時は設定することはできません。

※5 DSPが設定されているときは調整できません。(51ページ参照)

VOL(VOLUME) モード

VOL(音量)を調整します。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… 音量が大きくなる

左に回す …… 音量が小さくなる

BASSモード

BASS(低音)を調整します。

BASSの調整値は、オーディオモード(CD/MD プレーヤー、AM、FM)ごとに記憶されます。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… 低音を強調する

左に回す …… 低音を弱める

MID (MIDDLE) モード

MIDDLE (中音) を調整します。

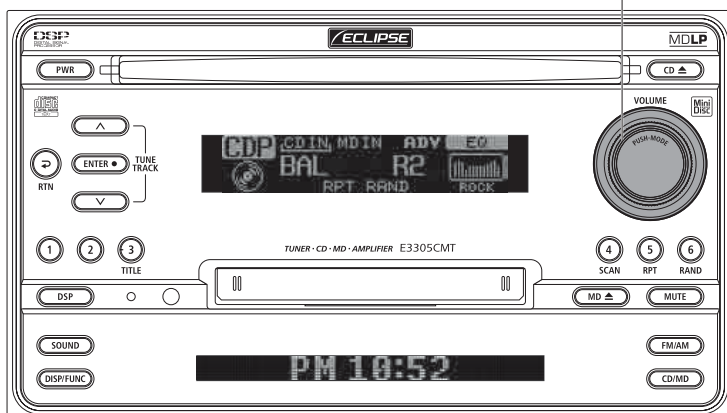
MIDDLEの調整値は、オーディオモード(CD/MD プレーヤー、AM、FM)ごとに記憶されます。

[オーディオコントロール] ボタンを回す

右に回す …… 中音を強調する

左に回す …… 中音を弱める

[オーディオコントロール]ボタン



TREB(TREBLE) モード

TREB(高音)を調整します。

TREBLEの調整値は、オーディオモード(CD/MDプレーヤー、AM、FM)ごとに記憶されます。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… 高音を強調する

左に回す …… 高音を弱める

BAL(BALANCE) モード

左右(BALANCE)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… 右のスピーカーを強調する

左に回す …… 左のスピーカーを強調する

FAD(FADER) モード

前後(FADER)のスピーカーのバランスを調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… 前のスピーカーを強調する

左に回す …… 後ろのスピーカーを強調する

NON-F(Non-FADER) モード

ノンフェダーレベル(接続されたサブウーファなど)を調整します。

[オーディオコントロール]ボタンを

右に回す …… レベルが大きくなる

左に回す …… レベルが小さくなる

SVC (Source Volume Control) モード

オーディオモードごとに音量の差を設定することができます。初期状態のFMモードの音量(初期値:40)を基準に、各オーディオモードで設定したボリューム差が記憶されます。SVCを設定すると下記の設定例のようにボリュームレベルが変化します。

設定例：

オーディオモード	FM	AM	CD	MD
初期値 (ボリュームレベル)	0 (40)	0 (40)	0 (40)	0 (40)
SVC設定 (ボリュームレベル)	基準 (40)	SVC設定値 +15 (55)	SVC設定値 - 10 (30)	SVC設定値 +10 (50)
FMモードでボリューム レベルを40→45に調整 したとき	45	55→60	30→35	50→55
CDモードでボリューム レベルを35→60に調整 したとき	45→70	60→80*	60	55→80
AMモードでボリューム レベルを80→20に調整 したとき	70→5	20	60→0*	80→15

*: ボリュームレベルは最大で80、最小で0です。最大・最小値を超える場合は、それ以上、以下には、ボリュームレベルは変化しません。

[オーディオコントロール] ボタンを

右に回す …… SVC設定値が大きくなる

左に回す …… SVC設定値が小さくなる

SVC設定値は-10から+20の範囲で設定してください。

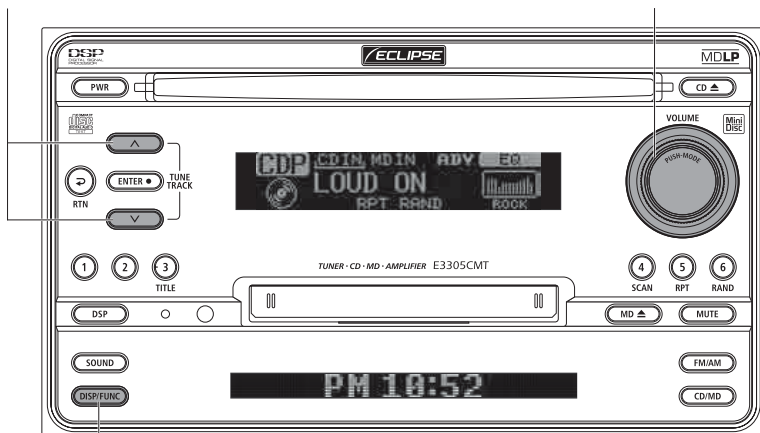


ワンポイント

車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、SVCの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。

[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタン

[オーディオコントロール]ボタン



[DISP/FUNC]ボタン

ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量でラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1 「LOUD ON」と表示されるまで [オーディオコントロール] ボタンを押す



ワンポイント

ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

ファンクションモードでの設定

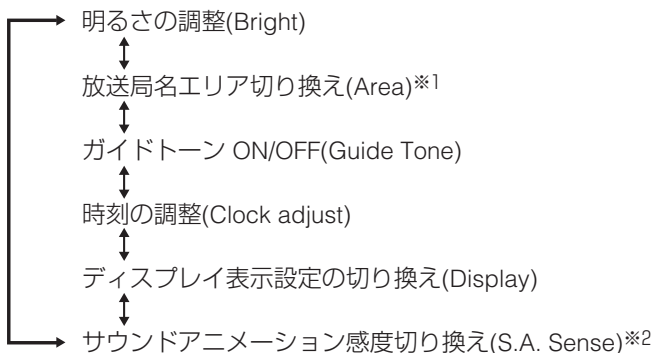
さまざまな設定を変更することができます。

1 [DISP/FUNC] ボタンを長めに（2秒以上）押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、設定項目を選択する

[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※1 ラジオ操作時以外は設定できません。（詳細はラジオ部の操作38ページを参照してください。）

※2 ディスプレイ表示設定でサウンドアニメーション選択時以外は設定することができません。

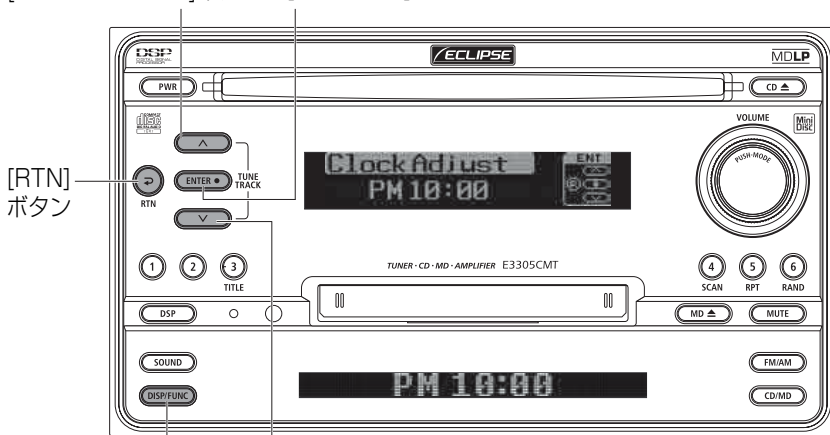
ガイドトーン ON/OFF

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。
お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

- 1** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
「Guide Tone」を選択する
- 2** [ENTER ●] ボタンを押す
ガイドトーン設定モードに切り換わります。
- 3** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
ON/OFFを切り換える
- 4** [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [DISP/FUNC] ボタンを長めに(2秒以上)、または[RTN]
ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**5**の時に[DISP/FUNC] ボタンを押してもファンクション
モードは解除されません。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[DISP/FUNC] ボタン、または[RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE TRACK ▲]ボタン [ENTER ●]ボタン



[DISP/FUNC]ボタン [TUNE TRACK ▼]ボタン

時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
「Clock adjust」を選択する
- 2 [ENTER ●] ボタンを押す
時刻調整モードに切り換わります。
- 3 [ENTER ●] ボタンを押して、調整する項目を選択する
ボタンを押すたびに、時、分が切り換わります。
- 4 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
調整する
[TUNE TRACK ▲]ボタン…… 選択されている時間または分が増える
[TUNE TRACK ▼]ボタン…… 選択されている時間または分が減る
- 5 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [DISP/FUNC] ボタンを長めに (2秒以上)、または [RTN]
ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に [DISP/FUNC] ボタンを長めに (2秒以上) 押し
てもファンクションモードは解除されます。)

ディスプレイ表示設定の切り換え

下側のディスプレイの表示をサウンドアニメーションとアニメーションに切り換えることができます。

お買い求めになったときは、アニメーションが表示されるように設定されています。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、「Display」を選択する

2 [ENTER ●] ボタンを押す

ディスプレイ表示設定モードに切り換わります。

3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、「S.A」、または「Animation」を選択する

アニメーション…………… 同じ動作を繰り返すアニメーション

サウンドアニメーション… 出力されている音声に合わせて、動作するアニメーション

4 [ENTER ●] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

5 [RTN] ボタンを押す

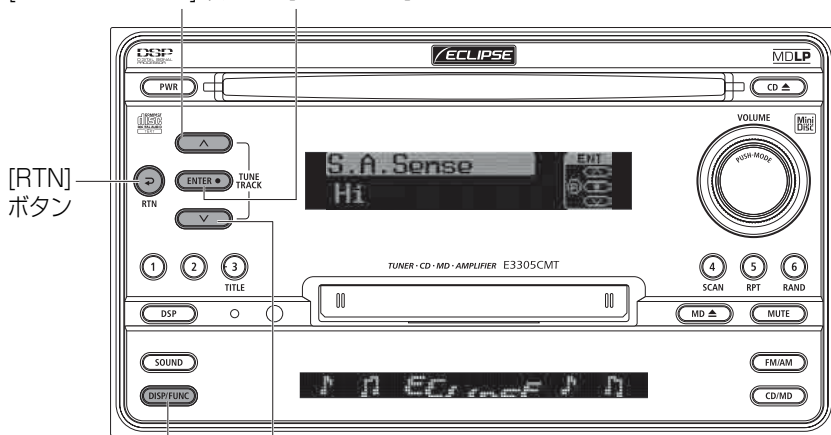
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [DISP/FUNC] を長めに（2秒以上）、または [RTN] ボタンを押す

（**5**の時に [DISP/FUNC] ボタンを長めに（2秒以上）押してもファンクションモードは解除されます。）

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに [DISP/FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE TRACK ▲]ボタン [ENTER ●]ボタン



[DISP/FUNC]ボタン [TUNE TRACK ▼]ボタン

サウンドアニメーション感度切り換え

サウンドアニメーション表示の感度を切り換えることができます。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
「S.A. Sense」を選択する
- 2 [ENTER ●] ボタンを押す
サウンドアニメーション感度設定モードに切り換わります。
- 3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
サウンドアニメーション感度を選択する
ボタンを押すごとに感度（Hi/Mid/Low）が切り換わります。
- 4 [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [DISP/FUNC] を長めに（2秒以上）、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に [DISP/FUNC] ボタンを長めに（2秒以上）押し
てもファンクションモードは解除されます。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに [DISP/FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ディスプレイ表示パターンの切り換え


ディスプレイの表示パターンを切り換えることができます。ファンクションモードのディスプレイ表示設定で選択したサウンドアニメーション、またはアニメーションからそれぞれのパターンを選択することができます。

1 [DISP/FUNC] ボタンを短く（1 秒未満）押して、ディスプレイ表示を選択する

ボタンを押すごとに、表示パターンが次の順で切り換わります。

サウンドアニメーション選択時


サウンドアニメーション①～⑤^{※1} → 時計 → 表示OFF



※1 ボタンを押すごとに5種類のサウンドアニメーションが切り換わります。

アニメーション選択時

アニメーション①～⑧^{※1} → 時計 → 表示OFF



※1 ボタンを押すごとに8種類のアニメーションが切り換わります。

CD 部 /MD 部の操作

ここでの操作は、すでにCDやMDが挿入されていることを前提に説明します。
特に指定がない場合、操作はCD、MDで共通しています。



CD/MDを聞く

1 [CD/MD] ボタンを押して、CDモードまたはMDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD] ボタンを押すごとに、CDプレーヤー (CDP) → MDプレーヤー (MDP) の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていないモードは、飛ばして切り換わります。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む / 曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

[TUNE TRACK ▲] ボタン…… 次の曲に進む

[TUNE TRACK ▼] ボタン…… 演奏中の曲の頭 (繰り返し押すと前の曲) に戻る

早送り・早戻しする

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押しつづける

[TUNE TRACK ▲] ボタン…… 早送りする

[TUNE TRACK ▼] ボタン…… 早戻しする

曲の始まりを演奏する (SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン [4] を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを 10 秒間ずつ演奏します。
再度番号ボタン [4] を押すと解除されます。

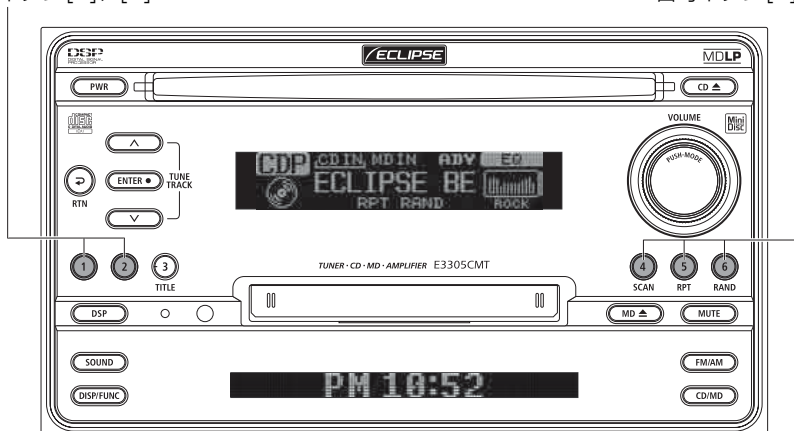
繰り返し演奏する (REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン [5] を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。
再度番号ボタン [5] を押すと解除されます。

番号ボタン[1]、[2]

番号ボタン[4]～[6]



ランダム 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- 「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

MDLPモードでグループ編集されたMDの操作

MDLPモードのグループ編集機能で、グループに分けて録音されたMDの場合、次のような操作をすることができます。(ただし、編集・録音された機器によって、動作しないことがあります。)

次のグループに進む/前のグループに戻る

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] …… 前のグループに戻る

番号ボタン[2] …… 次のグループに進む

曲の始まりを演奏する(グループSCAN)

1 番号ボタン[4(SCAN)]を長めに(2秒以上)押す

「GROUP SCAN」と表示され、MD内の全グループの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

繰り返し演奏する(グループREPEAT)

1 番号ボタン[5(REPEAT)]を長めに(2秒以上)押す

「GROUP RPT」と表示され、演奏中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

曲の順番を変えて演奏する(グループRANDOM)

1 番号ボタン[6(RANDOM)]を長めに(2秒以上)押す

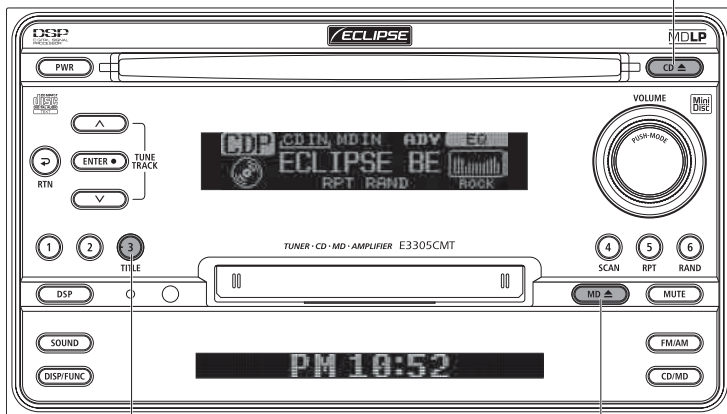
「GROUP RAND」と表示され、演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。



ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

[CD ▲ (イジェクト)]ボタン



番号ボタン[3]

[MD ▲ (イジェクト)]ボタン

CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える

CD TEXT、MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大10文字まで表示されます。

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

1 番号ボタン[3]を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。
ディスクタイトル／トラックタイトル※→経過時間

※ ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。

2 [ENTER ●] ボタンを押す

ボタンを押すごとに経過時間↔トラックタイトルが切り換わります。



注意

- 本機の表示部に CD TEXT、MD のタイトルまたはトラックタイトルが表示されないときは、この機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されない場合があります。
- ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- 本機で表示することができる文字は、次のようになります。
 CD TEXT……半角英数字、記号
 MD ……………半角英数字、半角カナ、記号
 上記以外の文字は*（アスタリスク）で表示されます。

ディスクを取り出す

1 [CD▲(イジェクト)]、または [MD▲(イジェクト)] ボタンを押す

挿入されていたディスクが排出されます。

[CD▲(イジェクト)] ボタン …… CDが排出される

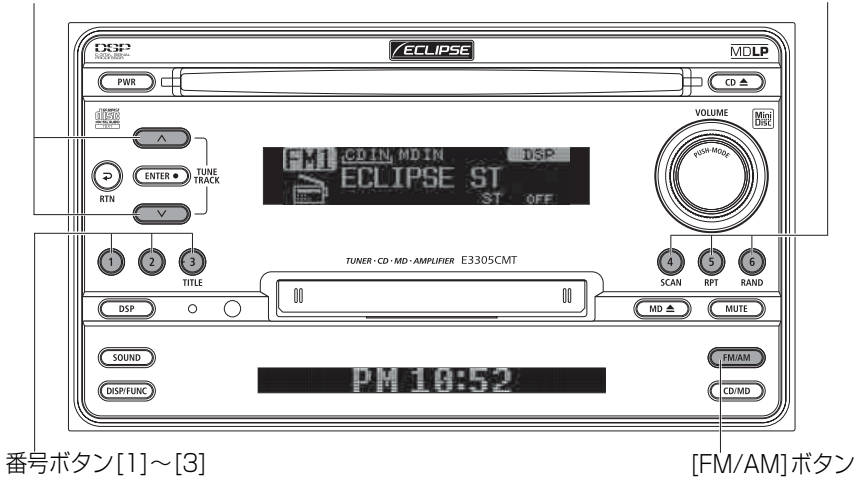
[MD▲(イジェクト)] ボタン …… MDが排出される

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶することができます。
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶することができます。

[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタン

番号ボタン[4]～[6]



ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信することができます。

- 1 **[FM/AM] ボタンを押す**
ラジオモードに切り換わります。
- 2 **[FM/AM] ボタンを押して、FM/AMバンドを切り換える**
ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。
- 3 **[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す**
任意の周波数に合わせます。
[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ移る
[TUNE TEACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ移る
- 4 **[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを長めに（2秒以上）押す**
電波の強い放送局を自動的に受信します。
[TUNE TRACK ▲] ボタン……周波数の高いほうへ選局
[TUNE TEACK ▼] ボタン……周波数の低いほうへ選局

自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM] ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [FM/AM] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

「ASM ON」とスクロール表示された後、点滅表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



ワンポイント

- ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- 受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[RESET] ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM AM] ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、記憶させる周波数に合わせる

2 任意の番号ボタン[1～[6]を長めに (2秒以上) 押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

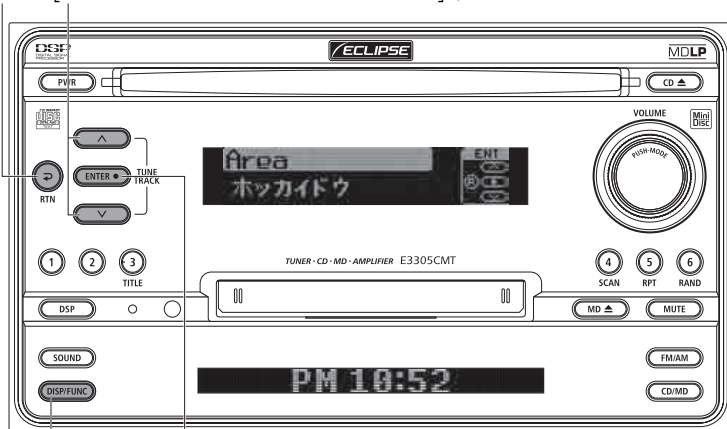
以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[RESET] ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

[RTN]ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタン



[DISP/FUNC]ボタン [ENTER ●]ボタン

放送局名を表示する(放送局のエリア設定)

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。
表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



注意

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

- 1 [DISP/FUNC] ボタンを長めに(2秒以上)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタンを押して、「Area」を選択する
- 3 [ENTER ●] ボタンを押す
放送局名表示モードに切り換わります。

4 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押し使用するエリアを選択する

ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

5 [ENTER ●] ボタンを押す※1

設定内容が反映されます。

6 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [DISP/FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(6の時に[DISP/FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[DISP/FUNC]ボタン、または[RTN]ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

放送局名表示中[ENTER ●] ボタンを押すごとに、周波数↔放送局名が切り換わります。



注意

以下の点にご注意ください。

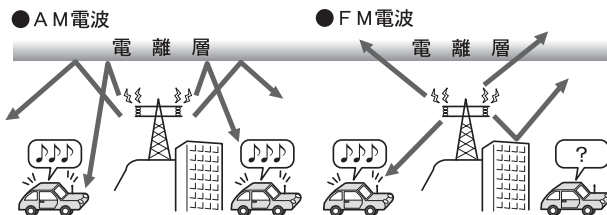
- 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- 本機の放送局名データは、平成16年1月1日現在のものです。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞けることができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

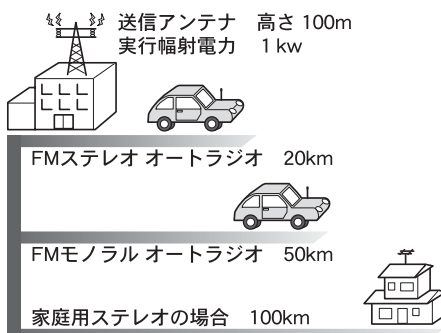
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

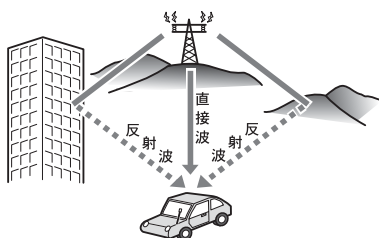


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



DSP/サウンド調整モードの操作

サウンド調整モードについて

本機は車室内の音響特性を補正するための各種機能を持っています。サウンド調整モードには通常モード、ADVANCEモードの2種類の調整モードがあり、それぞれのモードで以下の項目を調整することができます。

	通常モード	ADVANCEモード	参照ページ
ポジションセクタ	○	○	P48、58
DSP	○	×	P51
フェーズ	○	○	P49、63
イコライザ	×	○	P54
簡易タイムアライメント	×	○	P57
クロスオーバー	○	○	P50、62
Bass/Mid/Treble	○	×	P19、20
NON-F フェーズの出力切り換え	○	○	P52、63

ポジションセクタ

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では、4種類のポジションを設定することができます。

DSP

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。本機では5つのルームサイズが用意されています。

NON-FADER フェーズ

ウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカークの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相をNormal(フロント/リヤスピーカークとウーファの出力タイミングを同じにする)またはReverse(フロント/リヤスピーカークとウーファの出力タイミングをずらす)に設定することができます。

グラフィックイコライザ

グラフィックイコライザは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせてあらかじめ設定されたイコライザモード(6種類)を選択したり、各モードの詳細を調整することができます。

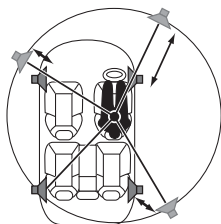
簡易タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違ふことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる(片寄り)・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。

この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。

基本的な調整方法は、各スピーカーまでの距離を実際に測定し、一番遠いスピーカーとの距離差を算出することで、各スピーカーからの音の遅延時間を決定します。

本機では、簡易タイムアライメント機能を搭載しており、4項目(ポジションセクタ/車種/ツィータの設定/リアスピーカーの位置設定)を設定するだけで、実際にスピーカーまでの距離を測定しなくてもタイムアライメントの調整を簡易的に行うことが可能です。



クロスオーバ

CDなどの音楽ソフトに収録されている周波数帯域は、20Hz～20kHzまでと幅広く、1つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。

そこで複数のスピーカーを用意し、それぞれのスピーカーの周波数帯域(低域・中域・高域など)を分割することで広帯域の再生が可能となります。

取り付けるスピーカーユニットやスピーカーレイアウトによって、各スピーカーの受け持つ周波数帯域を分割し、スピーカーの能力を最大限に引き出し、安定した周波数特性を実現し最適な音響空間を再現するための機能が『クロスオーバ』です。

クロスオーバには高域を再生するためのHPF(ハイパスフィルター)と低域を再生するためのLPF(ローパスフィルター)があります。また、中域を再生するにはHPFとLPFを組み合わせて使用します。



※fc*: カットオフ周波数

例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数は全く再生されないわけではなく、序々に減衰していきます。この減衰特性を調整する機能が『スロープ』調整です。

フィルターのスロープ特性は、スロープの数値が大きいく(例えば12dB/octなど)ほど、傾きが急になり隣の帯域からの音の混ざりが少なくなり、狙った帯域だけを再生することができますが、各スピーカー間の音のつながりが悪くなったり、歪みが発生する場合があります。

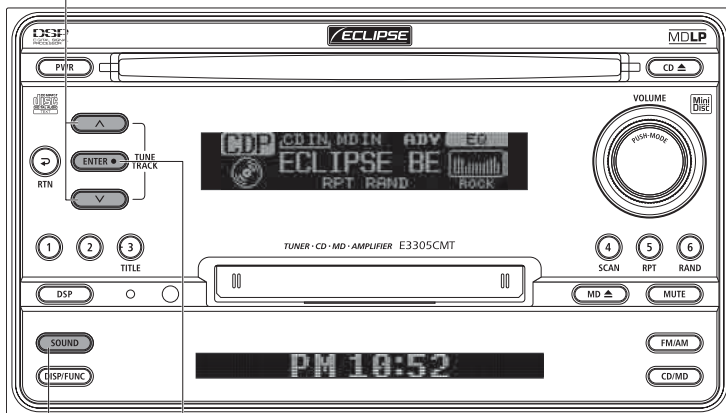
本機では、フロントスピーカーとリアスピーカー、必要に応じてウーファを追加する基本的なスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバは、フロント・リアスピーカーはHPF、ウーファはLPFを調整することにより、フロント、またはリアスピーカーとウーファの音のつながりをよくすることができます。

※ ウーファを接続しないシステムでは、スロープ調整を『PASS』にして下さい(スロープを12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されてしまいます)



- クロスオーバーとは、特定の周波数帯域を分割するフィルタのことです。
- HPF(ハイパスフィルタ)とは、設定された周波数より低い周波数(低域)をカットし、高い周波数(高域)を通すフィルタです。
- LPF(ローパスフィルタ)とは、設定された周波数より高い周波数(高域)をカットし、低い周波数(低域)を通すフィルタです。
- スロープとは、周波数が1オクターブ高く、または低くなったときに減衰する信号レベルです。
数値が大きくなるほど傾きは急になります。また、PASSを選択すると傾きがなくなる(フィルタを通過しない)ため、効果が得られません。

[TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼]ボタン



[SOUND]ボタン [ENTER ●]ボタン

サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND] ボタンを押す

[SOUND] ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード ↔ ADVANCEモードへ切り換わります。

ADVANCEモードに切り換えると、表示部に「ADVANCE ON」が表示されます。

通常モードに切り換えると、表示部に「ADVANCE OFF」が表示されます。

サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

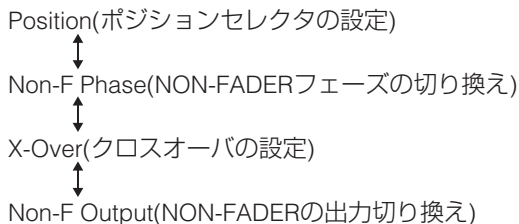
サウンド調整モード(通常モード)での操作

1 [SOUND] ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(通常モード)に切り換わります。

2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、設定項目を選択する

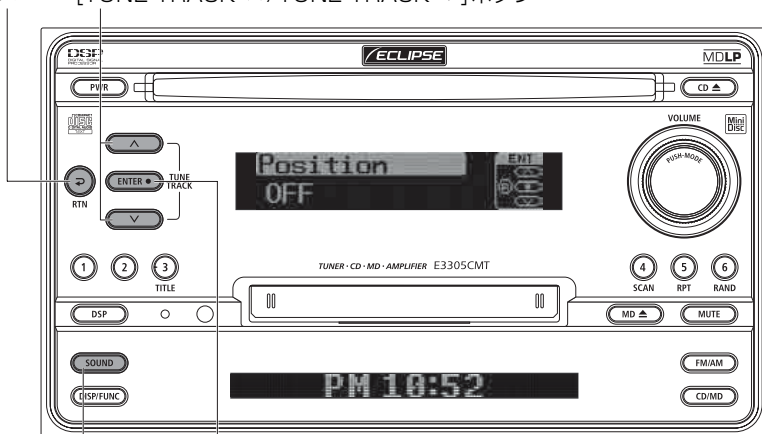
ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



3 [ENTER ●] ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン

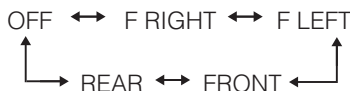


[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

ポジションセクタの設定 (Position)

座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す**
ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2 [ENTER ●] ボタンを押す※ 1**

設定内容が反映されます。

- 3 [RTN] ボタンを押す**

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す**

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

ポジションセクタを設定 (OFF 以外) すると BALANCE/FADER はキャンセルされます。

NON-FADER フェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE) を選択する

2 [ENTER ●] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

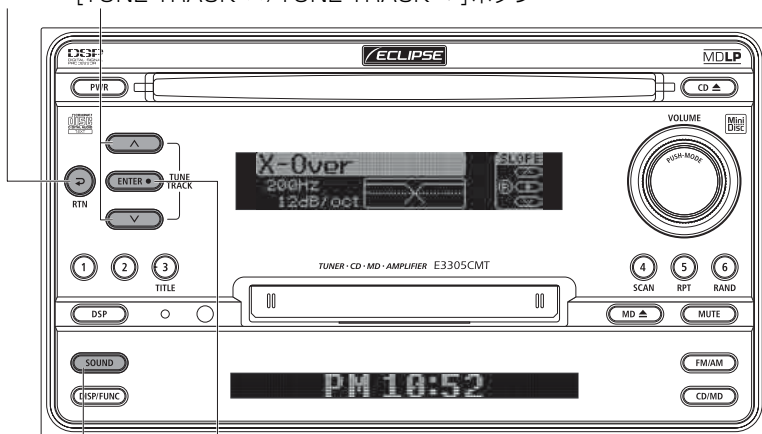
4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※¹: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

クロスオーバーの設定 (X-Over)

フロント・リヤスピーカのHPF(ハイパスフィルター)/ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz～200Hzの範囲で選択することができます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

- 1 [ENTER ●] ボタンを押して、カットオフ周波数を選択する
ボタンを押すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
- 2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、スロープを設定する
ボタンを押すごとに、スロープが次の順に切り換わります。
PASS ↔ 6dB/oct ↔ 12dB/oct



ワンポイント

ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを6dB/oct、12dB/octに設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

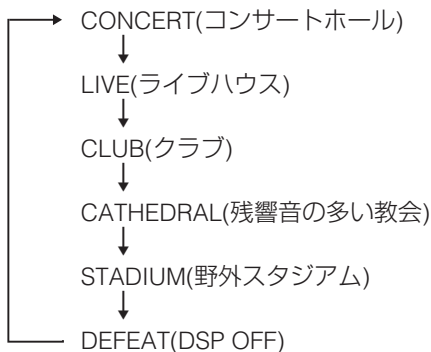
- 3 [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(3の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境(ルームサイズ)の臨場感を擬似的に再現することができます。

1 [DSP] ボタンを押す

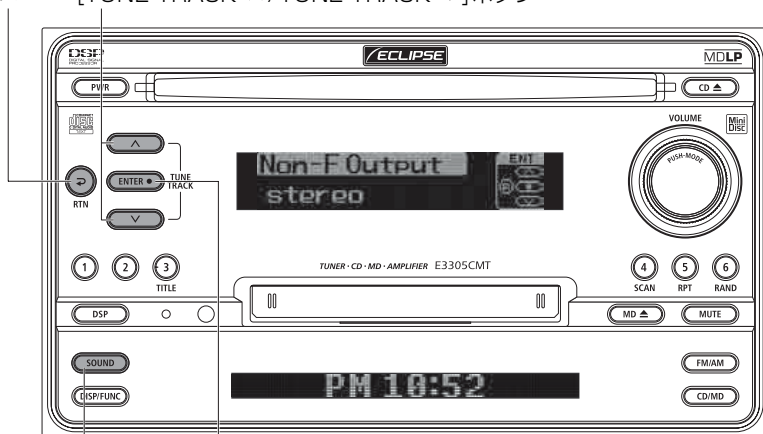
[DSP] ボタンを押すごとに、DSPモードが次の順に切り換わります。



ワンポイント

- 各モードのレベルは調整できません。
- サウンド調整モードでADVANCEモードを選択している時は、DSPモードを切り換えることができません。
- 選択したDSPモードに合わせてインジケーターが点灯します。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

NON-FADERの出力切り換え (Non-F Output)

NON-FADERの出力方式をステレオとモノラルに切り換えることができます。接続されているサブウーファの方式に合わせて、切り換えてください。

- 1** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、「STEREO」、または「MONAURL」を選択する
- 2** [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3** [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

サウンド調整モードの切り換え

1 [SOUND] ボタンを押す

[SOUND] ボタンを長めに(2秒以上)押すと、通常モード ↔ ADVANCEモードへ切り換わります。

サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。

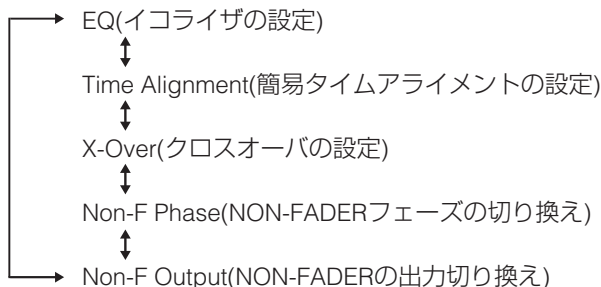
サウンド調整モード(ADVANCEモード)での操作

1 [SOUND] ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(ADVANCEモード)に切り換わります。

2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、設定項目を選択する

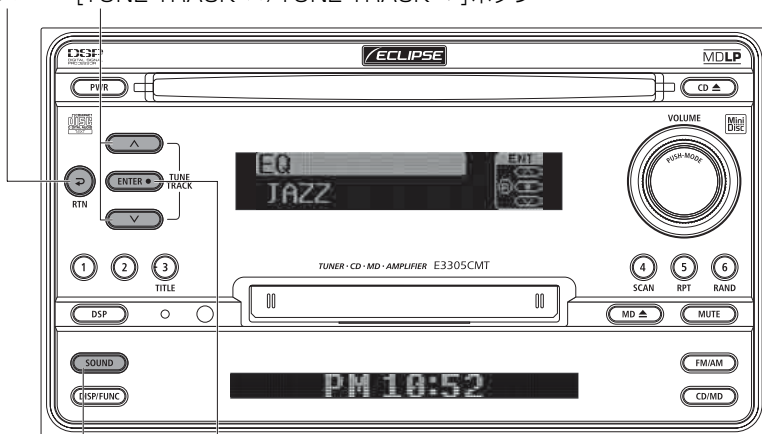
ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



3 [ENTER ●] ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

イコライザの設定 (EQ)

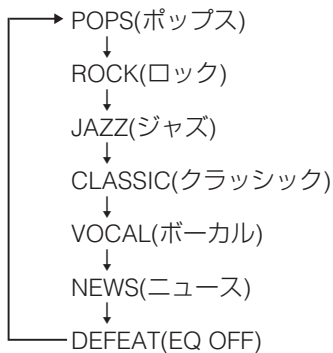
イコライザは、再生する音楽ジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、好みに合わせた音質で音楽を楽しむことができます。また、車室内の周波数特性を13バンドのイコライザにより補正することも可能です。

イコライザモードを切り換える

イコライザモードを切り換えます。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、イコライザモードが次の順に切り換わります。



2 [ENTER ●] ボタンを短く（1秒未満）押す※¹

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

（**3**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。）

※¹: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

◀ 各イコライザモードの詳細を調整する ▶

各イコライザの詳細を調整します。

1 イコライザモードを選択後、[ENTER ●] ボタンを長めに（2秒以上）押す

調整周波数切り換えモードになります。

2 [ENTER ●] ボタンを短く（1秒未満）押して、調整する周波数を切り換える

ボタンを押すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 100Hz ↔ 160Hz ↔ 250Hz ↔ 400Hz ↔ 630Hz ↔ 1kHz ↔
1.6kHz ↔ 2.5kHz ↔ 4kHz ↔ 6.3kHz ↔ 10kHz ↔ 16kHz

3 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す

各周波数のレベルを調整します。

[TUNE TRACK ▲] ボタン …… 大きくなる

[TUNE TRACK ▼] ボタン …… 小さくなる

4 記憶させる[番号ボタン]を長めに（2秒以上）押す

調整したレベルが記憶されます。

5 [RTN] ボタンを押す

ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

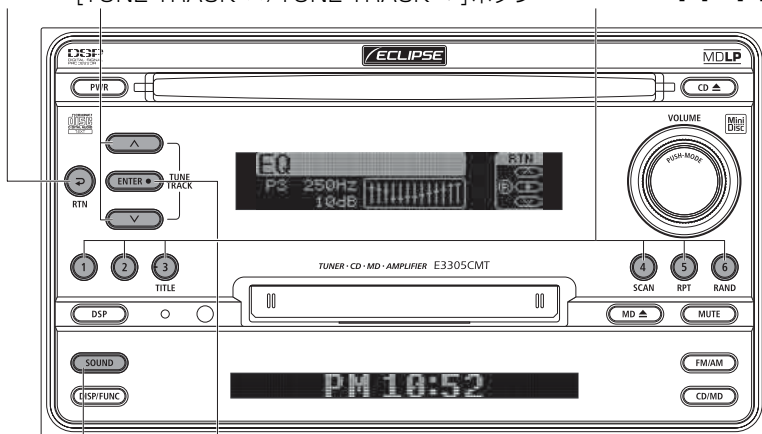
（**5**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。）



ワンポイント

車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、調整したレベルの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン 番号ボタン[1]～[6]



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

- 1** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、EQを選択する
- 2** [ENTER ●] ボタンを押す
- 3** 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- 4** [RTN] ボタンを押す
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または[RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)



ワンポイント

プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは

「USER ○」

↑
1～6 (プリセット番号)

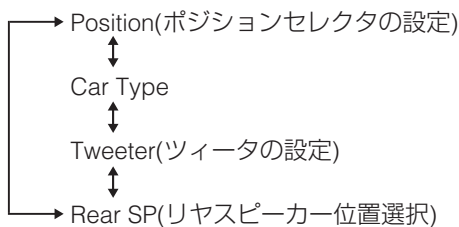
と表示されます。

簡易タイムアライメントの設定 (Time Alignment)

各スピーカーから出力される信号を遅延し、各スピーカーから聴取位置までの到達時間を合わせることで、位置特性、周波数特性を補正する機能です。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、設定項目を選択する

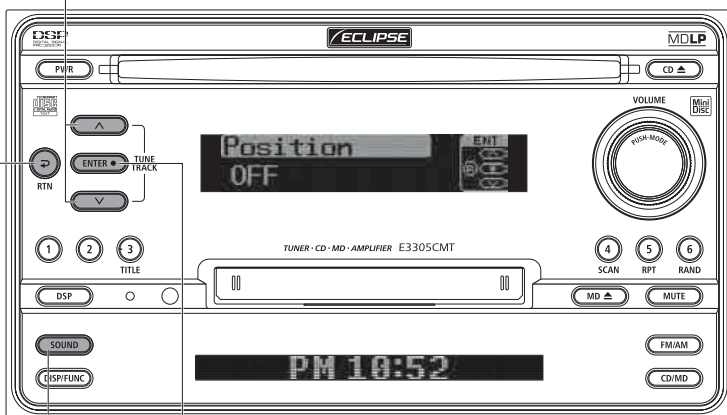
ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



2 [ENTER ●] ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

ポジションセレクタの設定 (Position)

座席の位置や人数に合わせて、聞く位置を選択します。

- 1** [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押す
ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。
OFF ↔ Front R ↔ Front L ↔ Front ↔ Rear
- 2** [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3** [RTN] ボタンを押す
タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4** [RTN] ボタンを押す
ADVANCEモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**3**、**4**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



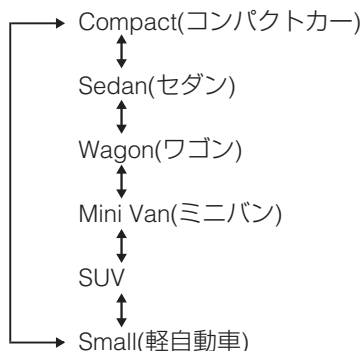
ポジションセレクタを設定(OFF以外)するとBALANCE/FADERはキャンセルされます。

車種を選択 (Car Type)

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中から車種に合ったものを選択することで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、車種を選択する

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [ENTER ●] ボタンを押す※1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

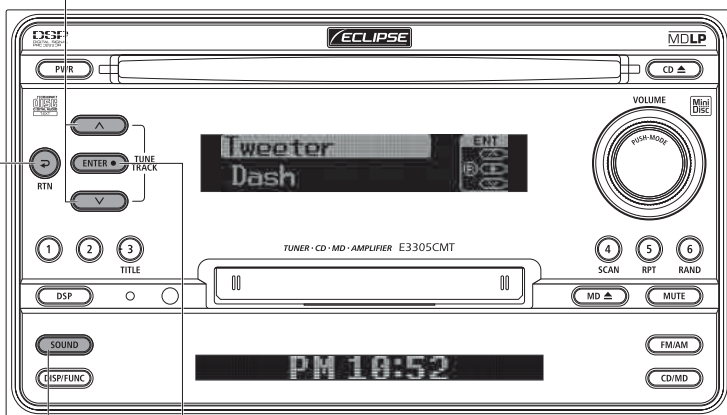
5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(3、4の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン

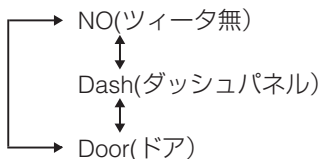


[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

ツィータの設定 (Tweeter)

ツィータの設置場所、ツィータの有無を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、ツィータの設置場所、ツィータの有無を選択する
ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2 [ENTER ●] ボタンを押す※1
設定内容が反映されます。
- 3 [RTN] ボタンを押す
タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [RTN] ボタンを押す
ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**、**4**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

フロントスピーカーがダッシュパネルに取り付けられている場合、ツイータを取り付けていなくてもツイータ設定をDashにすると効果的です。

リヤスピーカー位置選択 (Rear SP)

リヤスピーカーの設置場所を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、リヤスピーカーの設置場所を選択する

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

Door(ドア) ↔ Others(その他)

2 [ENTER ●] ボタンを押す※ 1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

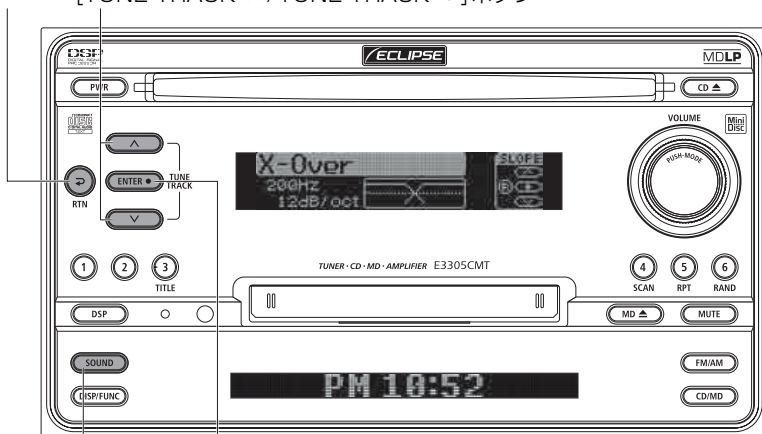
5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**、**4**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

※ 1: [ENTER ●] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[RTN] ボタン [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタン



[SOUND] ボタン [ENTER ●] ボタン

クロスオーバーの設定 (X-Over)

フロント・リヤスピーカーのHPF(ハイパスフィルター)/ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz～200Hzの範囲で選択することができます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

1 [ENTER ●] ボタンを押して、カットオフ周波数を選択するボタンを押すごとに、周波数が次の順に切り換わります。

63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz

2 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押しスロープを設定する

ボタンを押すごとに、スロープが次の順に切り換わります。

PASS ↔ 6dB/oct ↔ 12dB/oct ↔ 18dB/oct ↔ 24dB/oct



ワンポイント

ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを「PASS」以外に設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

3 [RTN] ボタンを押す

ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。(3の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

NON-FADER フェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE) を選択する
- 2 [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3 [RTN] ボタンを押す
ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(3の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに [SOUND] ボタン、または [RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

NON-FADERの出力切り換え (Non-F Output)

NON-FADERの出力方式をステレオとモノラルに切り換えることができます。接続されているサブウーファの方式に合わせて、切り換えてください。

- 1 [TUNE TRACK ▲/TUNE TRACK ▼] ボタンを押して、
「STEREO」、または「MONAURAL」を選択する



ワンポイント

MONAURAL 選択時は、左右の音声出力が左側のみに出力されます。(右側には音声は出力されません。)

- 2 [ENTER ●] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3 [RTN] ボタンを押す
ADVANCE モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(3の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)

※1: [ENTER ●] ボタンを押さずに [SOUND] ボタン、または [RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

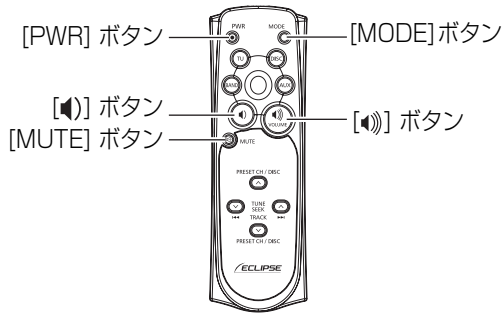
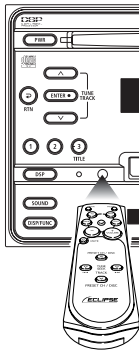
(別売) リモコンの操作

使用上の注意

- リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて強くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



電源を入れる / 切る

1 [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。



注意

本体の[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押してALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

音量を調節する

1 [音量] ボタンまたは [音量] ボタンを押す

[音量] ボタン……音量が上がる

[音量] ボタン……音量が下がる

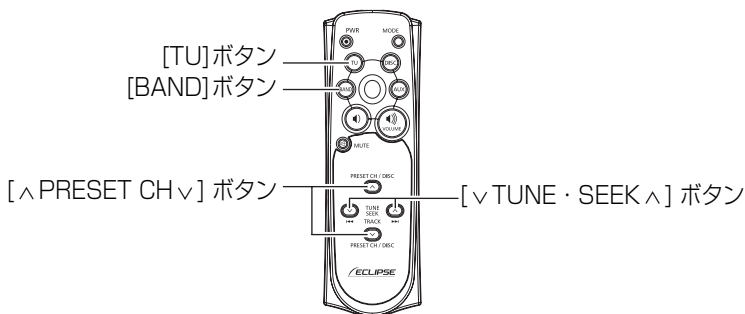
瞬時に消音する

[MUTE] ボタンを押すごとに、瞬時に消音したり、元に戻したりすることができます。

機能を切り換える

1 [MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ラジオ→ディスクモード→AUXの順に切り換わります。



ラジオ利用時の操作

FM AMを切り換える

1 [BAND]、または [TU] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

1 [∨ TUNE · SEEK ∧] ボタンを押す

[∧] ボタン …… 周波数の高い方へ選局

[∨] ボタン …… 周波数の低い方へ選局

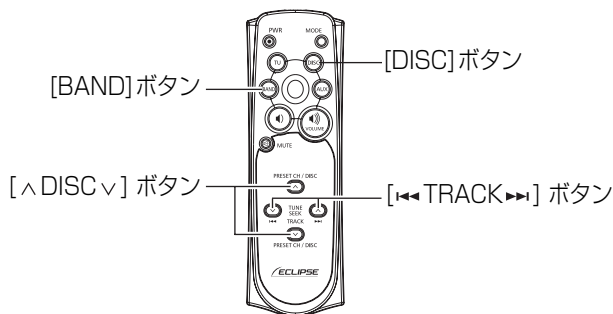
記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。([手動で放送局を記憶させる]37ページ参照)

1 [∨ PRESET CH ∧] ボタンを押す

[∧] ボタン …… プリセット番号の高い方へ選局

[∨] ボタン …… プリセット番号の低い方へ選局



CD、MD利用時の操作

次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 [◀TRACK▶] ボタンを押す
 - [▶▶] ボタン…… 次の曲に進む
 - [◀◀] ボタン…… 演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

ディスクモードを切り換える

- 1 [BAND]、または [DISC] ボタンを押す

CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、CDプレーヤー→MDプレーヤーの順に切り換わります。

このとき、ディスクが挿入されていない機器は、飛ばして切り換わります。

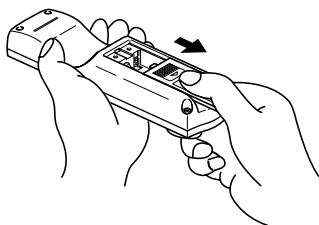
電池を交換する



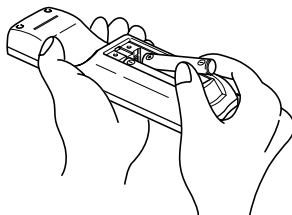
事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、単4形(マンガン電池)を2個で使用ください。

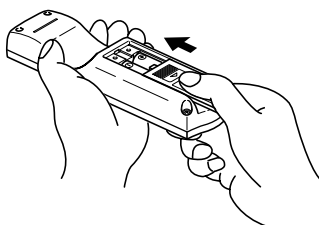
1 リモコンの裏ボタンを押しながら矢印の方向に開きます



2 電池2個をそれぞれ電池収納部の表示どおりにセットする



3 裏ボタンを矢印の方向に押して電池ケースを閉める



- 電池の寿命は約1年間です。リモコンの効きが悪くなった場合は、電池の寿命が考えられますので新しい電池と交換してください。
- 電池の+と-を間違わないよう注意してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、電池の液もれがおこったときは、電池収納部についた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

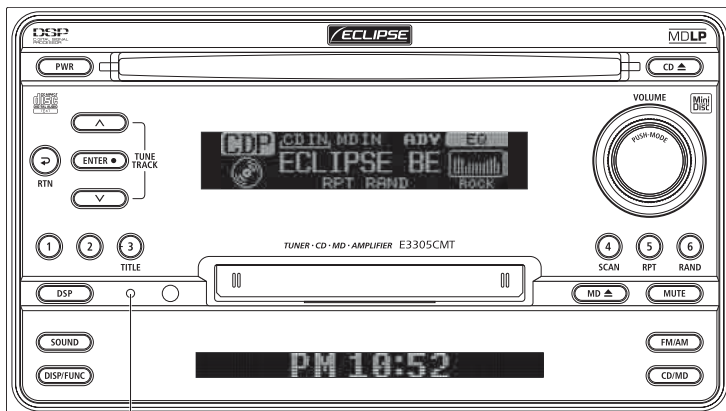
困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



注意

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[リセット]ボタンを押してください。



[リセット]ボタン

[RESET] ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

インフォメーションが点滅する

インフォメーション(「INFO No.」)が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

表示内容	インフォメーション	対処
INFO 3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
INFO 4※	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
INFO 5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 8※	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

※この内容は、MDのみ適用されます。

	症状	原因	処置	参照 ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	18
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	18
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	20
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	37
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	25

	症状	原因	処置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	37
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	37
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照 ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けないでください。	11
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	11
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	10
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	9
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照 ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに排出される。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	17
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。	13
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		無録音のディスクを使用していますか。	録音済みのディスクをご使用ください。	—
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。 排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	13
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。 取付け角度は適正ですか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	—
		取付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		悪路を走行させていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	9
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、MDなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(JIS-A)
チャンネルセパレーション	80dB
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-A ネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	13dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	22 μ V(S/N 20dB)

共通部

周波数特性	20Hz～20kHz
S/N比	108dB(JIS-A)
調整周波数	アドバンス OFF
	Bass 80Hz ± 12dB
	MID 630Hz ± 12dB
	TREBLE 10kHz ± 12dB
	チャンネルデバイダ
	クロスポイント周波数
	63～200Hz, 1/3octステップ
	スロープ 6/12dB/oct
	アドバンス ON
	EQ 63Hz, 100Hz, 160Hz,
	(13/バンド) 250Hz, 400Hz, 630Hz,
	1kHz, 1.6kHz, 2.5kHz,
	4kHz, 6.3kHz, 10kHz,
	16kHz
	チャンネルデバイダ
	クロスポイント周波数
	63～200Hz, 1/3octステップ
	スロープ 6/12/18/24dB/oct
ラウドネス	・ 100Hz : + 10dB
	・ 10kHz : + 6dB
最大出力	50W × 4
適合負荷インピーダンス	AMPOUT 4Ω(各チャンネル)/ PREOUT 10kΩ(各チャンネル)
LINE OUT 出力レベル	270mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用
消費電流	1W × 4出力時 約3A、最大約12A
寸 法	178mm(幅) × 100mm(高さ) × 160mm(奥行)
重 量	本体約2.2kg
保存温度範囲	－40℃～＋85℃
動作温度範囲	－20℃～＋65℃

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(69ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。

◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。

◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。

※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4. 出張による修理、点検は行っておりません。

5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

<商品に関するお問い合わせ先>アフターサービスについて

<商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ>
※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前 10:00～12:00 午後 1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市閭明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 (サンライズ用宗105)	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

MEMO

富士通テン株式会社

本社/〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1-2-28
TEL. (078) 671-5081

www.fujitsu-ten.co.jp